

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【公開番号】特開2005-174355(P2005-174355A)  
 【公開日】平成17年6月30日 (2005.6.30)  
 【年通号数】公開・登録公報2005-025  
 【出願番号】特願2004-368593(P2004-368593)  
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 30/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/60 3 1 8 A

G 0 6 F 17/60 1 2 4

G 0 6 F 17/60 3 0 2 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成21年9月2日 (2009.9.2)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

車両の残価を算出する残価算出システムにおける残価算出方法であって、  
再販時の車両の売却額データと、車両の入札会の結果により得られた、再販前の車両の  
売却額データと、車両の使用状態に関するデータであって売却額に与える影響が大きいと  
定められた実使用データとの相関関係を導出し、

前記相関関係に基づいて、再販時の車両の売却額データ及び再販時の該車両の実使用デ  
ータから再販前の該車両の売却額データを算出することを特徴とする残価算出方法。

【請求項 2】

車両の属性毎に生成された、車両の残価を算出するための残価算出式を保持し、  
残価算出の対象車両の属性を特定し、保持された前記残価算出式の中から、前記残価算  
出の対象車両の属性に対応する前記残価算出式を取得し、

取得された前記残価算出式に前記残価算出の対象車両に対応する数値を代入して前記残  
価算出の対象車両の残価を算出することを特徴とする請求項 1 に記載の残価算出方法。

【請求項 3】

前記残価算出の対象車両に対応する数値は、前記残価算出の対象車両の新車時の価格、  
走行距離、及び新車登録時からの経過期間であることを特徴とする請求項 2 に記載の残価  
算出方法。

【請求項 4】

前記残価算出の対象車両の人気の度合及び消耗の度合の少なくとも何れかに基づいて、  
算出された前記残価算出の対象車両の残価を補正することを特徴とする請求項 2 又は 3 に  
記載の残価算出方法。

【請求項 5】

前記残価算出の対象車両は、新型車種であり、  
前記残価算出式は、既車両に基づき生成されていることを特徴とする請求項 2 ～ 4 の何  
れか一項に記載の残価算出方法。

【請求項 6】

車両に関する任意の時点での時価を予測する残価設定シミュレーションシステムと、  
車両の属性を示すデータを記憶する車種データベースと、  
再販時の車両に関する既再販データと、車両の入札会の結果により得られた、再販前の  
車両に関する再販前データとを記憶する既再販データベースと  
を備え、

前記車種データベース及び前記既再販データベースから前記残価設定シミュレーション  
システムへ、定期的又はデータ更新がされた時に、前記車種データベース及び前記既再販  
データベースに記憶されているデータが送信されることを特徴とする車両再販価格分析シ  
ステム。

【請求項 7】

前記残価設定シミュレーションシステムは、  
前記既再販データと、前記再販前データと、車両の使用状態に関するデータであって売  
却額に与える影響が大きいと定められた実使用データとの相関関係を導出し、  
前記相関関係に基づいて、再販時の車両の売却額データ及び再販時の該車両の実使用デ  
ータから再販前の該車両の売却額データを予測することを特徴とする請求項 6 に記載の車  
両再販価格分析システム。